

平成 15 年 10 月 29 日
川鉄鋼板株式会社
エヌケーケー鋼板株式会社

川鉄鋼板(株)とエヌケーケー鋼板(株)との合併について

川鉄鋼板株式会社(社長 中西 輝行)とエヌケーケー鋼板株式会社(社長 鎌本 紘)とは J F E スチール株式会社発足に伴い、統合を視野に入れた事業再編について検討を重ねてまいりました。その結果、以下の内容で合併することに基本的に合意し、本日、合併基本合意書を締結するにいたりました。

1．合併の狙い

新会社は、J F E グループの薄板建材事業分野に特化し、その中核を担ってまいります。同分野において、自立的経営を図るために必要となる最適製造・販売体制を構築し、合併効果の早期実現に努めます。両社の営業基盤・技術力・生産拠点等を活かし、付加価値の高いガルバリウム鋼板、カラー鋼板のオンリーワン・ナンバーワンの独自商品の開発、下工程の成型加工分野への積極的な展開等により、強靱な経営体質と高収益構造の表面処理鋼板会社として J F E グループでのシナジー効果を追求してまいります。

2．合併の基本姿勢

両社対等の立場で合併致します。

3．合併の時期

平成 16 年 4 月 1 日を合併の期日と致します。

4．新社名

J F E 鋼板株式会社(英文名：JFE GALVANIZING & COATING CO.,LTD.)と致します。

5．存続会社

川鉄鋼板株式会社と致します。

6．株式割当比率

合併に伴い、川鉄鋼板株式会社は、合併期日前日のエヌケーケー鋼板株式会社の株主名簿に記載された株主に対し、その保有する株式(発行済み株式数 201 株) 1 株につき、川鉄鋼板株式会社の株式(発行済み株式数 51,197 千株)51,000 株を割り当て交付致します。

す。

なお、株式割当比率は、両社の時価純資産をベースに評価・協議した結果であり、両社の監査法人である新日本監査法人が、株式割当比率算定は、適正に行なわれたことを表明しております。

7．本店所在地

本店所在地は、東京都中央区日本橋室町三丁目1番9号(現 川鉄鋼板株式会社本社)と致します。

8．主要役員人事

代表取締役社長には、中西 輝行(現 川鉄鋼板株式会社 社長)が就任し、楢本 紘(現 エヌケーケー鋼板株式会社 社長)は同社の代表取締役副社長に就任する予定です。

9．増加すべき資本金

合併契約書締結までに決定致します。

10．JFEスチール(株)との機能分担と生産設備の見直し

JFEスチール(株)、川鉄鋼板(株)、エヌケーケー鋼板(株)の3社間で、JFEグループにおける溶融亜鉛めっき・塗装鋼板の生産販売体制を検討致しました。その結果新会社は薄板建材事業分野に特化し、自立的経営を図ることとし、下記のとおり設備の見直しを致しました。

エヌケーケー鋼板(株)の第3CGL(連続溶融亜鉛めっき設備)、第3CCL(連続カラー塗装設備)は親会社へ移行する。

エヌケーケー鋼板(株)の第1CCLは休止の予定とする。

その結果、新会社はCGL5基、CCL5基体制となります。なお、生産拠点は現在の川鉄鋼板(株)の千葉、松戸、玉島、エヌケーケー鋼板(株)の京浜の4地区であり、変更はありません。各製造所の概要は以下のとおりです。

	CGL	CCL	位置付け
千葉製造所	1基	2基	GF(ガルファン)の製造拠点
松戸製造所	1	1	極薄材の製造拠点
京浜製造所	2	1	東日本のGL(ガルバリウム)の製造拠点
玉島製造所	1	1	西日本のGL(ガルバリウム)の製造拠点

11．営業拠点

現状は川鉄鋼板(株)が10拠点、エヌケーケー鋼板(株)が6拠点の営業拠点があり、同一地域にある拠点は統合致します。

拠 点	所 在 地	ビル	現入居会社	
北海道	支店	札幌市中央区北五条西 2-5	夕-オイスラザ さっぽろ	川板・N板
東北	支店	仙台市青葉区一番町 3-1-1	仙台富士ビル	川板・N板
新潟	営業所	新潟市東大通 1-3-1	帝石ビル	川板
東京	本社	東京都中央区日本橋室町 3-1-9	げんビル	川板
北陸	営業所	富山市桜橋通り 3-1	富山電気ビル	N板
名古屋	支店	名古屋市中村区名駅 3-28-12	大名古屋ビル	川板・N板
西日本	支店	大阪市北区堂島 1-6-20	堂島パナザ	川板・N板
岡山	営業所	岡山市中山下 1-8-45	N T T クレド岡山ビル	川板
中国	営業所	広島市中区中町 8-12	広島グリーンビル	川板
九州	支店	福岡市博多区中洲中島町 2-3	福岡ランドビル	川板

1 2 . 人事

両社の早期融合ならびに新会社の発展のため、個人の能力・業績に基づき、公正且つ適材適所に配置致します。

1 3 . 関係会社

連結子会社は川鉄鋼板(株)に 6 社ありますが、「川鉄」を冠した社名については合併と同時に変更致します。

1 4 . 合併効果

物流の効率化、ライン統合・運用、合理化(要員効率化等)、資材購買費削減等で約 7 億円の収益改善効果があると見ております。

1 5 . 経営目標

上記合併効果の実現により、以下の経営目標を目指します。

	2 0 0 2 年度 統合前合計	2 0 0 5 年度 計 画
売上高(億円) *	652	640
経常利益(億円)	14	40

* 売上高は JFE スチール(株)への設備移行等による減少が発生します。

本件に関するお問い合わせは、下記にお願い致します。

川鉄鋼板(株) 取締役	東山 真司	03-5255-9511
エヌケーケー鋼板(株)常務取締役	日下 武夫	044-322-1023

以 上

資 料

1. 合併当事会社の概要(単体へ-ス)

(1) 商 号	川鉄鋼板株式会社	エヌケーケー鋼板株式会社
(2) 事 業 内 容	めっき鋼板および塗装鋼板の製造、加工及び販売 上記以外の鉄鋼製品の製造、加工及び販売 建築土木用資材の製造、加工及び販売 金属屋根・壁材の製造、加工及び販売 屋根工事・建築工事	めっき鋼板および塗装鋼板の製造、加工及び販売 上記以外の鉄鋼製品の製造、加工及び販売
(3) 設 立 年 月 日	1913年 6月	1999年 6月
(4) 本 店 所 在 地	東京都中央区日本橋室町三丁目1番9号	川崎市川崎区水江町6番1号
(5) 代 表 者	取締役社長 中西 輝行	取締役社長 鎌本 紘
(6) 資 本 金	4,313百万円	1,700百万円
(7) 発行済株式数 (2003年10月1日現在)	51,197,000株	201株
(8) 株 主 資 本 (2003年3月31日現在)	13,017百万円	3,891百万円
(9) 総 資 産 (2003年3月31日現在)	24,347百万円	21,558百万円
(10) 決 算 期	毎年 3月31日	毎年 3月31日
(11) 従 業 員 数 (2003年10月1日現在)	483名	220名
(12) 大株主及び出資比率 (2003年10月1日現在)	JFEホールディングス株 (100%) (その後JFEスチール株へ移転)	JFEスチール株 (100%)
(13) 当事会社の関係	資本関係	なし
	人的関係	なし
	取引関係	なし

2. 最近3決算期間の業績(単体へ-ス)

単位:百万円

決算期	川鉄鋼板株式会社			エヌケーケー鋼板株式会社		
	2001年3月期	2002年3月期	2003年3月期	2001年3月期	2002年3月期	2003年3月期
売上高	31,299	28,936	28,993	34,649	33,095	36,165
営業利益	740	686	784	370	460	772
経常利益	781	665	855	188	222	555
当期純利益	272	266	206	80	98	272